

テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議 活動通信 第6号(2018年5月)



国際テロ情勢



【最近の主な国際テロ情勢】

2018年5月：インドネシア・スラバヤで、キリスト教会や警察署等で連続自爆テロ
2017年8月：スペイン・バルセロナで、大規模イベント会場へのトラック突入テロ
2017年5月：英国・マンチェスターで、米国有名歌手のコンサート中に自爆テロ
2017年3月：英国・ロンドンで、国会議事堂付近の歩行者に車両が突入するテロ

【我が国に対するテロの脅威】

イスラム過激派組織 I S I L は、オンライン機関誌「^{ダービク}DABIQ」で、我が国や邦人をテロの標的として繰り返し名指ししています。

インターネット上で I S I L への支持を表明する者が存在しており、過激思想に影響を受けた者によるテロが日本国内で発生する可能性は否定できません。

日本では、2019年にラグビーワールドカップ及びG20サミット、2020年に東京オリンピックの開催が予定されています。

こうした国際的大規模行事は、大きな注目を集めることから、テロの攻撃対象となることが懸念されます。

【国際テロ対策】

テロを未然に防止するためには、警察による取組のみでは十分ではなく、関係機関、民間事業者、地域住民等が緊密して行う官民一体となったテロ対策を全国的に推進する必要があります。

宮崎県内のテロ対策

平成30年4月29日(日)、宮崎市橘通において「みやざき国際ストリート音楽祭2018」が開催され、約39,000人の来場がありました。

同イベント会場では、テロ対策として、大型警察車両等を配置した車両突入防止措置や、複数言語で表記されたテロ警戒用看板やベストなどを活用しテロの未然防止を図りました。



「官民一体となったテロ対策」で、安全・安心の街作りを！

事務局：代表電話 0985-31-0110 (内線5792・5832)